

製品名: クローディン-7 (リン酸化 Tyr210) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04475**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 32kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CLDN7 |
| 別名 | CLDN7; CEPTRL2; CPETRL2; Claudin-7; CLDN-7 |
| 遺伝子 ID | 1366.0 |
| SwissProt ID | O95471 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒトクローディン 7 の Tyr210 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 162-211 |

背景

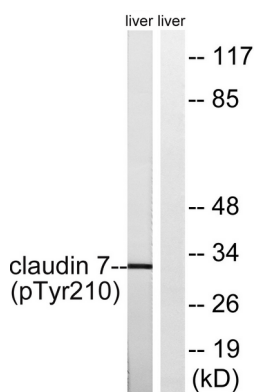
この遺伝子はクローディンファミリーのメンバーをコードします。クローディンは膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション

鎖の構成要素です。タイトジャンクション鎖は、上皮細胞シートまたは内皮細胞シート間の細胞間隙を溶質や水が自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能し、細胞極性の維持とシグナル伝達においても重要な役割を果たします。この遺伝子の差別的発現は、乳がん、卵巣がん、肝細胞がん、尿路腫瘍、前立腺がん、肺がん、頭頸部がん、甲状腺がんなど、さまざまな種類の悪性腫瘍で観察されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2010年5月]、機能:細胞間隙のタイトジャンクション特異的閉塞に主要な役割を果たす。、誘導:アンドロゲンによる。、類似性:クローディングファミリーに属する。、サブユニット:TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用する。、組織特異性:腎臓、肺、および前立腺で発現する。アイソフォーム1が優勢であると思われるが、一部の正常前立腺サンプルではアイソフォーム2が主要な形態である。乳がん(乳管内癌(DCIS)、小葉癌(LCIS)、浸潤性乳管癌(IDC)を含む)およびいくつかの癌細胞株において、タンパク質レベルで発現が低下している。発現の消失は組織学的悪性度と相関し、主に高悪性度病変で発現する。

研究分野

細胞接着分子(CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

画像データ



Claudin 7 (リン酸化 Tyr210) 抗体を用いたラット肝臓ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。